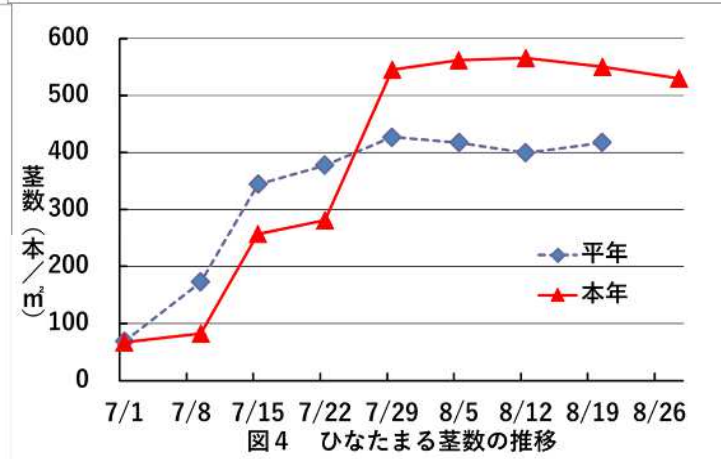
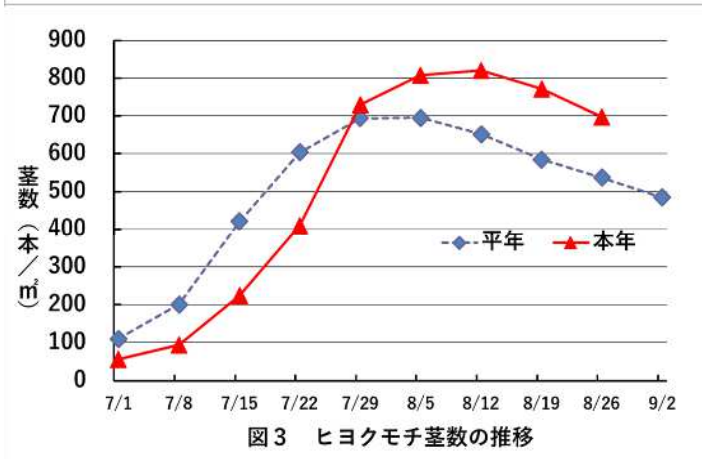
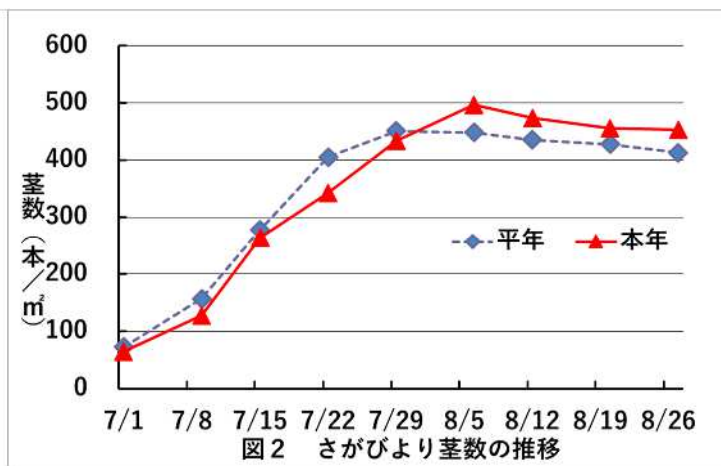
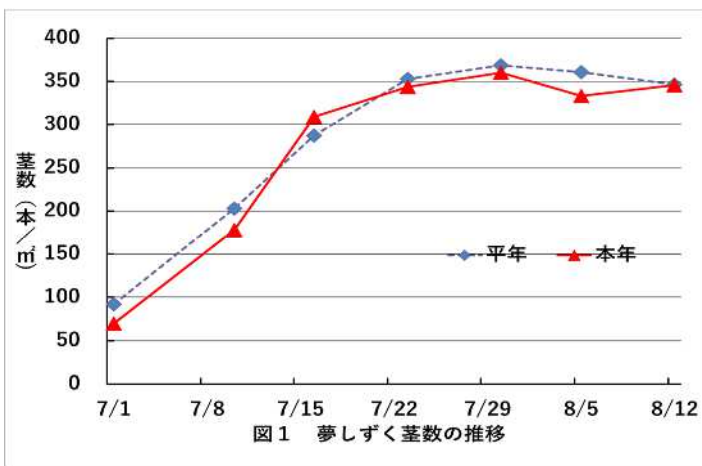


稲・大豆作情報（NO. 9）

1. 水稻作況情報田の生育概況（8月26日現在）

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 c m	茎 数 本/㎡	葉 齢	SPAD	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/16 18.7株/㎡	本 年 平 年 平年比	出穂期（本年）8月16日 出穂期（平年）8月16日 平年並み				【気象】 8/21～8/25まで 平均気温：高い（平年+2.7） 降水量：少ない（平年比0%） 日照時間：長い（平年比122%） ○草丈：「さがびより」、「ヒヨクモチ」は平年より低く、「ひなたまる」は平年並み。 ○茎数：全ての品種において、平年より多い。 ○葉齢「さがびより」、「ヒヨクモチ」はやや遅れている。「ひなたまる」はやや進んでいる。
さがびより 小城市芦刈町	6/20 19.6株/㎡	本 年 平 年 平年比	85.3 94.9 (90)	453 413 (110)	14.8 15.0 (-0.2)	33.1 34.3 (-1.2)	
ヒヨクモチ 神崎市千代田町	6/21 15.8株/㎡	本 年 平 年 平年比	83.7 89.7 (93)	550 418 (132)	13.9 14.4 (-0.5)	39.9 37.2 (+2.7)	
ひなたまる 佐賀市大和町	6/20 15.4株/㎡	本 年 昨 年 昨年比	83.4 82.2 (101)	697 537 (130)	15.6 15.5 (+0.1)	40.4 35.5 (+4.9)	

注1) 各品種 前作：麦 注2) 施肥及び病虫害防除は地区基準に準ずる
 注3) 平年値は、過去10年間（H27～R6）の平均値
 注4) ひなたまるはR7年から作付けのため、昨年との比較のみの記載になります。

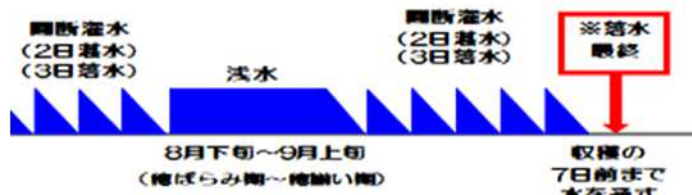


◆農業試験研究センター米づくり情報9号 8月27日(抜粋)

移植日	項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年または平均との比較)
6月18日	夢しずく	本年 平年 平年比(差)	出穂期:8月15日 8月17日 (-2)			[気象] 8月20日～8月26日まで ◆平均気温…3.9℃高い ◆日照時間…長い(平年比139%) ◆降水量…少ない(平年比4%)	
	ヒノヒカリ	本年 平年 平年比(差)	出穂期:8月25日 8月27日 (-2)			[生育] ◆草丈 「さがびより」はやや低く、「ヒヨクモチ」は平年並み。	
	ひなたまる	本年 平均(2か年) 平均比(差)	出穂期:8月26日 8月25日 (+1)			◆茎数 「さがびより」は平年並み、「ヒヨクモチ」は多い。 ◆葉齢 「さがびより」の主穂葉数は平年並み。「ヒヨクモチ」の葉齢はやや多い。	
6月19日	さがびより	本年 平年 平年比(差)	91.6 93.4 98	441 442 100	止葉葉位 15.1 15.0 (+0.1)	37.3 35.7 (+1.6)	◆葉色(SPAD値) 「さがびより」はやや濃く、「ヒヨクモチ」はやや淡い。 ◆「さがびより」は走り穂が見られており(出穂期予測:8月29日頃)、「ヒヨクモチ」は主穂の葉耳間長が3.2cmとなっている(出穂期予測:9月5日頃)。
	ヒヨクモチ	本年 平年 平年比(差)	78.4 78.5 100	711 520 137	15.9 15.6 (+0.3)	35.9 36.7 (-0.8)	

2. 水稻における今後の管理

○水管理 ～ 圃場の状況に応じた水管理の徹底 ～



「夢しずく」

・早植えの「夢しずく」(5月下旬～6月上旬移植)は、糊熟期～黄熟期、普通期の「夢しずく」(6月中旬移植)は、乳熟期～糊熟期を迎えている。今後の水管理は根の活力維持及び地固めのため間断灌水に移行する。

「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」、「さがびより」、「ヒヨクモチ」

・「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」「さがびより」は間もなく出穂期を迎える。

「ヒヨクモチ」は、穂ばらみ期を迎えている。

・幼穂形成期以降は、稲が水を必要とする時期なので、穂揃い期まで浅水で湛水状態を保ち、その後は根の活力維持および地固めのため、間断灌水に移行する。

○(全品種共通)

・今後も高温が続くと予想される。特に夜間の高温は、穂への養分転流が阻害され、登熟歩合の低下や白未熟粒発生による品質低下が懸念される。そこで、湛水管理を行う際に夕方以降の入水が可能であれば・・・

⇒ 昼間の浅水 → 夜間の湛水管理を行い、なるべく地温を下げるよう努め、収量・品質の向上を図る。

用水等から十分な引水が難しい圃場では・・・

- ① 少ない用水を効率的に利用するため、溝切を実施することが効果的
- ② 蒸発散量の少ない夕方から未明での灌水が、水稻の萎凋・枯死の被害を軽減できる。

○各品種における幼穂形成の状況（8/24時点）

品種・場所	移植日・播種日（直播）	生育状況
ひなたまる	6/20 移植	間もなく出穂
さがびより	6/20 移植	間もなく出穂
	5/25 播種（乾田直播）	間もなく出穂
ヒヨクモチ	6/20 移植	幼穂長 20 mm

注）振興センター展示ほにおける幼穂形成の状況を記載。

○高温干ばつ対策

今後も高温と少雨（干ばつ）傾向が続くと予想される。

出穂前後に高温が継続すると、

- ① 呼吸作用と茎葉からの蒸散作用の増加が起こる。
- ② 植物体内の同化養分量の減少により、えい花数の減少や小穂化が懸念される。

また、少雨により圃場の干ばつ状態が継続すると、

- ① 幼穂形成期から出穂開花頃までは、穂の短小化、えい花数の減少、不稔が起こる。

【高温対策】

- ① 高温条件下では、茎葉からの蒸散量が増加するので水分の補給は十分に行う。
- ② 高温・少雨条件が続けば根の機能低下が著しい⇒よりこまめな間断・灌水で根の機能維持に努める。
- ③ なるべく夕方冷たい水に入れ替え地温を下げるよう努める。特に、日中35℃、夜温が25℃を超えるような日が続く場合「掛け流し灌漑」が有効である。

【干ばつ対策】

- ① 幼穂形成期から出穂期が最も要水量が大きい時期であるため、幼穂形成期以降は間断灌水を行い、減数分裂期（出穂10日前）～穂揃期までは湛水を長めにとるように心がける（この期間は最低でも黒乾状態とし、できれば湿潤とする）。
- ② 被害の目安としては、日中は若干萎凋していたとしても、朝夕は正常に戻っていれば被害は最小限に抑えることができる。穂ばらみ期に葉の先端の水孔からの排水が止まる（日暮れになっても先端に水滴がつかない）と白穂の危険性がある。
- ③ 幼穂形成期に白乾で経過し、穂ばらみ期に急激に灌水状態とすると、根の活力が失われるなどして、登熟不良になることが懸念される。したがって、最初は「はしり水」などして湿潤状態で経過させ、その後湛水するようにする。

○施肥管理

「ヒヨクモチ」

- ・下記の穂肥施用基準を参考に施用する。
- ・穂肥施用時は湛水し、その後の間断灌水では、土壤中に酸素を送り、根の活力を向上するため落水期間を確実にとる。なお、田面が緩い場合、収穫と麦播種作業の効率化を図るため、落水期間をやや長めにとる。

表1. ヒヨクモチの穂肥施肥基準

	穂肥Ⅱ施用(kg/10a)	実肥施用量(kg/10a)
施用時期の目安	8月25~27日 (穂肥Ⅰの10日後)	穂揃期 (9月8日~10日頃)
LPBB804	—	—
BB602	10	10

※「元肥一発肥料」を施用した圃場で、穂肥Ⅱの時期に葉緑素計(SPAD)で40を切る場合、窒素成分で2kg/10a程度(BB602 15kg/10a)施用する。大豆跡では、上記の5割未満に減肥して施用する。

○病害虫情報(発生および防除)

- ・今後も高温が続く見込みであり、高温・少雨の条件下では害虫の発生が多くなるため、発生状況を確認し適期防除を実施する。
- ・セジロウンカとトビイロウンカは、6月3日頃~飛来しており、6月20日~7月6日、7月16~20日頃に主要な飛来が確認されている。(トビイロウンカ:7/1~7/6の飛来が約8割)

【トビイロウンカ】

トビイロウンカは、7月下旬調査において平年よりやや多い発生で、梅雨明け以降、気温が高く降雨日が少ないといった増殖に好適な条件で推移しており、「向こう1ヶ月の気温は高い」と予想されているため、今後も本虫の増殖に好適な条件が続くと考えられる。

・防除については、1回目の防除適期は8/20~24、2回目の防除適期は9/18~9/24となっています。(次ページの発生予測の図1)

- ・防除する場合は、湛水するとともに薬剤が株元まで十分にかかるように丁寧に散布する。

【有効薬剤: オークストラ、エクシード、エミリア など】

【コブノメイガ】

- ・コブノメイガは6月20日頃および6月26日頃に飛来が確認されており、圃場によっては幼虫の食害が多い圃場も見受けられる。
- ・コブノメイガの発生予測は次ページのとおりで防除適期は幼虫ふ化揃い期(発蛾最盛期の7日後)である。今後、止葉を含む上位3葉に被害が発生すると減収につながるため、発生状況に注意する。

【有効薬剤: ロムダン、トレボンなど】(各自圃場の状況を見ながら防除をおこなう。)

- ・上記の両害虫とも、品種別に発生状況は異なると考えられるため発生状況を確認し、適期防除に努める。
- ・発生予測は随時更新されるため、防除の考え方等については、最新情報を農業技術防除センターのホームページで確認してください。

連絡先: 佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
〒840-2205 佐賀市川副町南里1088
TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085
Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp



【ウンカ類・コブノメイガ】

トビイロウンカ防除適期
1回目 8/20～8/24
2回目 9/18～9/24

コブノメイガ防除適期
1回目 8/8～8/22
2回目 9/11～9/26

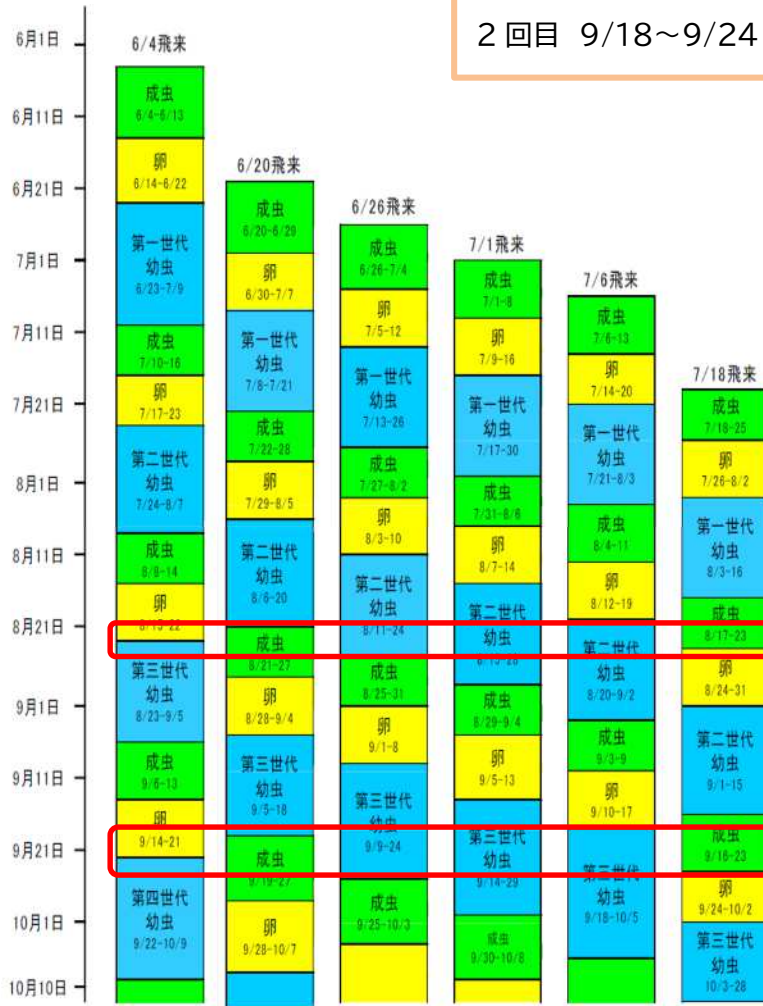


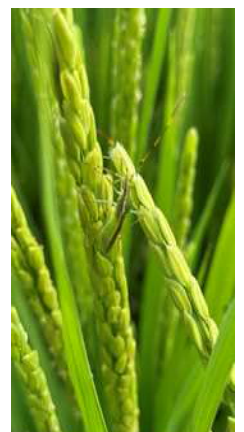
図1 トビイロウンカ各世代の発生予測 (第2版、2026年7月26日作成)



図2 コブノメイガ各世代の発生予測 (第2版、2026年7月26日作成)

【斑点米カメムシ類】

- ・今年度は斑点米カメムシの発生が平年より多く、R8年7月 29 日付けで早植え及び普通期水稻を対象とした注意報が発令された。管内でも多発生圃場が散見されており、8 月 13 日発表の九州北部地方の1か月予報(8/15～9/14)では、今後1か月程度も、気温の高い状態が続き、今後 2 週間は降水量の少ない状態が続く見込みとされており、多発生条件となっている。
- ・出穂後の除草は、水田内に斑点米カメムシ類を誘い込んで被害を助長するため、**出穂 10 日前までに畦畔除草**を行い、山麓部や河川敷付近など例年発生の多い圃場では、**乳熟期(穂揃い期の約 10 日後)を中心に薬剤防除を徹底**する。
- ・防除はカメムシが穂に上ってくる夕方に行うと効果が高い。



乳熟期の穂につく
クモヘリカメムシ
(8月20日)

表2. 各品種別の草刈り時期と防除時期の目安

品種名	出穂 10 日前	出穂期（平年）	乳熟期（平年）
夢しずく	～8/6 頃まで	8/16	8/28 頃
ヒノヒカリ	～8/17 頃まで	8/27	9/8 頃
さがびより	～8/20 頃まで	8/30	9/11 頃
ヒヨクモチ	～8/31 頃まで	9/10	9/22 頃

注1）出穂期（平年）は、佐城管内における情報田のデータの平均値
注2）夢しずく、ヒノヒカリ、さがびより、ひなたまるは既に草刈りの時期を過ぎています。

◆農業技術防除センター病害虫発生予察情報予報第5号 8月27日（抜粋）

1) 予報の内容

発生量：平年より多い

2) 予報の根拠

(1)イネ科植物での捕虫網によるすくい取り虫数（表1）

平年比：やや多～多（±～+）

(2)9月の気象予報

気温は高く、多発生の条件（+）



（左：イネカメムシ、右：クモヘリカメムシ）

20回すくい取り虫数（2026年8月17日～20日）

調査地点	場所	草種	クモヘリカメムシ		ネノハリカメムシ		シラネシカメムシ類		アサシカメムシ		ミナミアサシカメムシ		イネカメムシ	
			成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫
佐賀市1	空地	イノコグサ類	10	0	6	0	0	0	88	15	0	0	0	0
佐賀市2	空地	イノコグサ類	18	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
佐賀市3	空地	イノコグサ類	102	46	0	0	2	25	0	0	0	0	0	0
唐津市	空地	ヒエ類	1	0	1	5	0	3	3	0	0	0	0	0
多久市	道端	イノコグサ類	25	13	4	0	11	23	1	0	0	0	0	0
伊万里市1	道端	ヒエ類	5	0	20	2	6	0	0	0	0	0	0	0
伊万里市2	空地	イノコグサ類	23	26	4	1	4	36	1	0	0	0	0	1
小城市	空地	イノコグサ類	5	1	5	0	19	35	3	1	0	0	0	0
嬉野市	空地	イノコグサ類	0	1	0	2	0	0	5	0	0	0	0	0
神埼市	空地	イノコグサ類	21	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
吉野ヶ里町	空地	イノコグサ類	7	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0
みやき町	空地	イノコグサ類	20	7	13	0	16	6	0	0	0	0	0	0
白石町1	空地	イノコグサ類	16	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白石町2	道端	イノコグサ類	8	0	1	0	2	12	0	0	0	0	0	0
本年（平均）			18.6	8.1	4.2	0.7	4.4	10.1	7.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.1
平年（過去10年の平均）			2.4	5.2	2.5	1.2	0.8	1.3	7.7	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前年（平均）			1.5	1.8	5.6	2.2	2.3	4.2	1.2	0.1	0.0	0.2	0.3	0.3
平年比			多	やや多	やや多	やや少	多	多	並	並	並	並	並	並

【イネカメムシ】

- ・イネカメムシは、近年全国的に被害が拡大している斑点米カメムシの一種で、昨年から県内で確認されている。
- ・本種は、水稻の出穂始めに籾を吸汁して不稔にし、大きな減収被害が生じる。
- ・他の斑点米カメムシ類とは異なる特徴があり、適期の本田防除が必要となる。



イネカメムシの成虫（左）及び幼虫（右）

（防除対策）

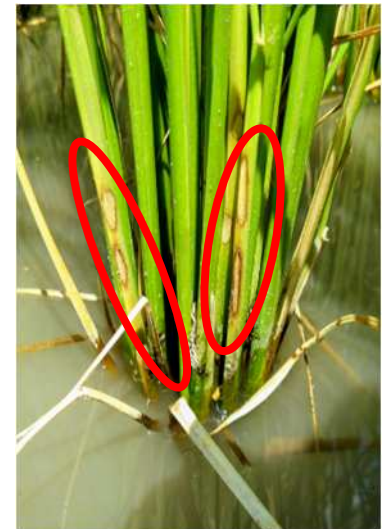
- 1) 圃場内をよく観察し、本種の早期発見に努める。特に、周辺より出穂が極端に早い、又は遅い圃場では、本種の飛来が集中するため、発生状況を注意深く観察する。
- 2) 出穂前に本種の発生を認めた圃場では、通常の斑点米カメムシ類の防除適期である穂揃い期～乳熟期の防除だけでなく、発生状況に応じて出穂期の薬剤散布を実施する。

【紋枯病】

- ・病害虫発生予察注意報（7月29日付け）では普通期水稻では、やや多となっている。
- ・本年度は各品種で茎数が多く推移しており、葉身がうっぺいした圃場で、高温・多湿条件となれば多発生しやすい
- ・高温多湿条件が続くと、紋枯れ病が進展する恐れが高まるので、発生を認めた圃場では病斑が上位の葉鞘に進展（垂直進展）する時期に防除を徹底する。

（液剤、粉剤の場合は出穂10～20日前を目安とする）病斑が上位3葉の葉鞘に達している場合は直ちに薬剤防除を行う。

※昨年度から作付けを開始している「ひなたまる」は紋枯病に弱く、過去に紋枯病が多発し倒伏した事例もあるため、基幹防除を徹底する。



ひなたまる（R6年 8月）

○乾田直播き情報

「ひなたまる」、「さがびより」では出穂走り～出穂期となっている。浅水管理を行い、湿潤状態を保つ。湛水しにくい圃場では、夕方からの入水を行い、最低でも黒乾状態を保つ。



5/19 播種ひなたまる



5/20 播種さがびより

3.大豆における今後の管理

1 大豆の生育状況

- ・7月上中旬に播種された圃場では、開花期を迎える。
- ・7月下旬に播種された圃場は、出芽後でも高温乾燥により生育が停滞している圃場がみられる。



7/14 播種 生育状況 (8/27 撮影)

2 今後の管理

1) 干ばつ対策について (降雨が見込めない状況の場合)

○高温乾燥が予測される場合の対策

- ・コルゲート管の閉栓が土壤水分確保に有効である。

◆大豆生育期間中に必要な水量



2) 畝間灌水

今後も降水量が少ない状態が続く予報となっている。圃場がひび割れ白乾した状態になる前に努めて灌水を行う（過乾燥状態になると土壌内部に亀裂が入るため、畝間灌水しても圃場の先端まで通水せず地下に浸透してしまう）。

灌水方法としては、畝間灌水や額縁明渠を利用した灌水などを行う。その際、灌水後に圃場で滞水すると、根が退化し、大豆の生育が抑制されるため速やかに排水させることがポイントとなる。

※畝間灌水後は雑草の発生が多くなるため、除草剤散布等の雑草対策を行う。

3 病害虫対策について（発生及び防除）

1) 【ハスモンヨトウ】→白変葉が発生

- ・管内でもハスモンヨトウの発生が確認されており、一部の圃場では卵が孵化し、食害が始まっている。
- ・夏季が高温少雨で経過した年は、発生が多く増殖に伴う被害拡大が懸念されるため、フェロモントラップの捕殺数や圃場毎に白変葉の増加に注意する。
- ・播種期が早い圃場では、例年 8 月中旬頃からハスモンヨトウの幼虫が散見され始める。
- ・防除適期は、若令幼虫による白変葉が見られ始めた頃であり、防除が遅れ中令幼虫以上（体長約 2 cm 以上）になると、防除効果が低下する。
- ・防除後約 3 日経過した後も高い密度で食害を続けている時は、再防除が必要である。
- ・ハスモンヨトウには、フェニックスフロアブル、プレバソンフロアブルは感受性が低下しており、使用を避ける。



ハスモンヨトウの白変葉
(8 月 20 日)



ハスモンヨトウの多発圃場
(8 月 19 日)

◆農業技術防除センター病害虫発生予察情報予報第 5 号 8 月 27 日（抜粋）

1. ハスモンヨトウ

1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多い

2) 予報の根拠

(1) 発生の現況

①定期調査（図 1 参照）

発生株率 0.5%（平年 1.4%、前年 0.5%）

平年比：やや少（－～±）

白変葉発生株率 0.3%（平年 0.8%、前年 0.6%）

平年比：やや少（－～±）

②トラップ調査（図 2 参照）【県内 8 地点】

平年比：並（±）

(2) 9 月の気象予報

気温は高く、多発生の条件（＋）

3) 防除上注意すべき事項

(1) フェロモントラップでの誘殺数は平年並で推移しているが、今後本虫の増殖に好適な気象条件が予想されており、発生が増加するおそれがある。各圃場での発生状況を確認し、白変葉が散見され始めたら確実に防除を行う。

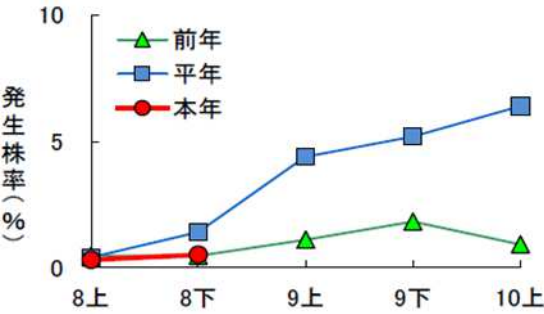


図1 大豆でのハスモンヨトウの発生推移

2) 【オオタバコガ・ウワバ類】→ 葉っぱに穴が開く

- ・気象予報では高温少雨が予測され、ハスモンヨトウと同様に多発生の条件となっている。
- ・葉に大きな穴が開いた株が目立ち、周辺に青虫がいる場合は、オオタバコガによる食害の可能性が高くウワバ類やシロイチモジヨトウが含まれる場合もある。
- ・オオタバコガやシロイチモジヨトウには、ノーモルト、トレボンに感受性が低下しており、使用を避ける。

表 4. 防除薬剤（効果が強い薬剤）

	ハスモンヨトウ	オオタバコガ、シロイチモジヨトウ
薬剤名	ブロフレア、グレーシア、プレオ、ディアナ等	ブロフレア、グレーシア、プレオ、等

4 雑草防除

難防除雑草への対応

アサガオ類やホオズキ類が圃場内に発生している場合、多発すると大豆の作付け自体が困難になるため、発生が少ないうちに、雑草の開花や結実前までの茎葉処理除草剤のスポット処理や手取りの防除に努める。

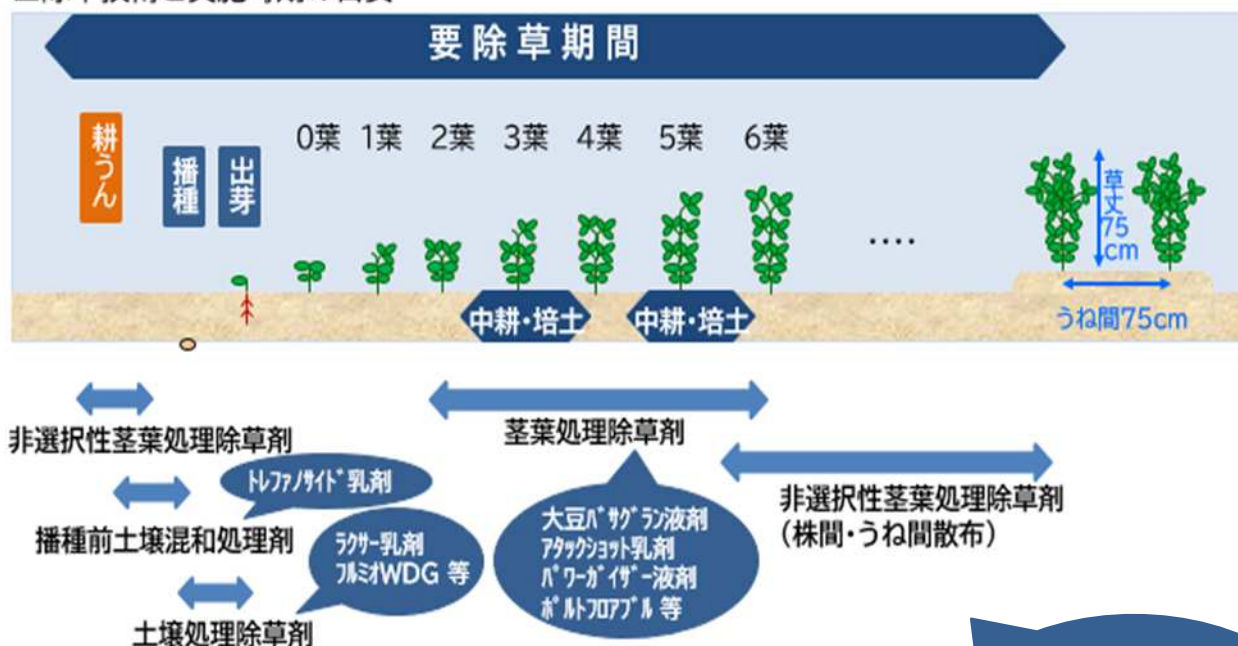
なお、ダイズの発芽不良・生育停滞によりアサガオが蔓延している圃場が散見される。開花・結実すると1株から数千個の種子をつけ、次年度以降の発生源となる。アサガオが開花・結実する前に、薬剤等による防除等を行うか、圃場から持ち出し圃場内の埋没種子を増やさないようにする。

ツユクサ類（近年、特にカロライナツユクサが蔓延）は土壌処理剤の効果が十分ではないため「ハスモンヨトウ」や茎葉処理剤（大豆バサグラン等）での除草を基本とする。



大豆圃場に蔓延したアサガオ（8/25）

■除草技術と実施時期の目安



【畦間処理】
ザクザ液、プリグロックス等
【畦間・株間処理】
バスタ液、ロックス水和、
ワンドル WG 等

令和8年産 水稻の収穫期予想積算表【8月25日現在】

月	日	平均気温		品 種										さがびより				ヒヨクモチ					
		平年値	本年値	夢しずく					ヒノヒカリ					ひなたまる									
		℃	℃	早繰入5/25移植	6/10移植	6/17移植	6/20移植	6/25出穂	6/27出穂	6/29移植	6/29移植	6/29出穂	6/22移植	6/31出穂	6/2出穂	6/20移植	7/2移植						
		℃	℃	8/4頃出穂	8/16出穂	8/17出穂	8/19出穂	8/28出穂	8/29出穂	8/29出穂	8/29出穂	8/29出穂	8/22移植	8/31出穂	9/2出穂	9/3出穂	9/7出穂						
積算気温 最低値		平地上 800℃	平 坦 940℃					平 坦 1000℃					平 坦 1000℃					980℃		950℃			
積算気温 最高値		山麓 1,150℃	山麓 1,120℃					山麓 1,190℃					1200℃					1,150℃		1,150℃			
出穂後日数 最長～最長		35～45日	40～45日										40～49日				38～47日				46～60日		
黄熟稼割合 早限～遅限		70～95%	75～90%										判断困難				80%～90%				90～95%		
稲 水 分		早限～遅限	29～25%					28～25%					25～24%					26～22%				28～22%	
8月	4	28.8	31.9	出穂日																			
	5	28.8	32.0	32																			
	6	28.8	32.3	64																			
	7	28.8	32.2	97																			
	8	28.7	31.0	128																			
	9	28.7	30.1	158																			
	10	28.7	29.8	187																			
	11	28.6	27.8	215																			
	12	28.6	27.5	243	出穂期																		
	13	28.5	28.7	271	29																		
9月	1	26.6	828	585	498	439	378	189	134	161	6	107	4	27	1								
	2	26.5	855	612	525	466	404	215	161	188	7	134	5	53	2	出穂期	出穂後日数						
	3	26.4	881	638	551	492	430	242	187	214	8	160	6	80	3	26	1	出穂期					
	4	26.3	907	665	577	519	457	268	213	241	9	186	7	106	4	53	2	26					
	5	26.2	933	691	603	545	483	294	240	267	10	213	8	132	5	79	3	53					
	6	26.0	959	717	629	571	509	320	266	293	11	239	9	158	6	105	4	79					
	7	25.9	985	743	655	597	535	346	291	319	12	265	10	184	7	131	5	104	出穂期				
	8	25.8	1,011	768	681	623	561	372	317	344	13	290	11	210	8	157	6	130	26				
	9	25.7	1,037	794	707	648	586	397	343	370	14	316	12	235	9	182	7	156	52				
	10	25.5	1,062	820	732	674	612	423	368	396	15	342	13	261	10	208	8	181	77				
10月	11	25.4	1,088	845	758	699	637	448	394	421	16	367	14	286	11	233	9	207	102				
	12	25.3	1,113	870	783	724	663	474	419	446	17	392	15	312	12	259	10	232	128				
	13	25.1	1,138	895	808	750	688	499	444	471	18	417	16	337	13	284	11	257	153				
	14	24.9	1,163	920	833	774	713	524	469	496	19	442	17	362	14	309	12	282	178				
	15	24.8	1,188	945	858	799	737	548	494	521	20	467	18	386	15	333	13	307	203				
	16	24.6	1,212	970	882	824	762	573	519	546	21	492	19	411	16	358	14	332	227				
	17	24.4	1,237	994	907	848	786	597	543	570	22	516	20	435	17	382	15	356	252				
	18	24.2	1,261	1,018	931	872	811	622	567	594	23	540	21	460	18	407	16	380	276				
	19	24.0	1,285	1,042	955	896	835	646	591	618	24	564	22	484	19	431	17	404	300				
	20	23.8	1,309	1,066	979	920	858	669	615	642	25	588	23	507	20	454	18	428	324				
11月	21	23.6	1,332	1,090	1,002	944	882	693	639	666	26	612	24	531	21	478	19	452	347				
	22	23.4	1,356	1,113	1,026	967	905	716	662	689	27	635	25	554	22	501	20	475	371				
	23	23.3	1,379	1,136	1,049	991	929	740	685	712	28	658	26	578	23	525	21	498	394				
	24	23.1	1,402	1,160	1,072	1,014	952	763	708	736	29	681	27	601	24	548	22	521	417				
	25	22.9	1,425	1,182	1,095	1,037	975	786	731	758	30	704	28	624	25	571	23	544	440				
	26	22.7	1,448	1,205	1,118	1,059	997	808	754	781	31	727	29	646	26	593	24	567	463				
	27	22.6	1,470	1,228	1,140	1,082	1,020	831	777	804	32	750	30	669	27	616	25	590	485				
	28	22.4	1,493	1,250	1,163	1,104	1,042	853	799	826	33	772	31	691	28	638	26	612	508				
	29	22.2	1,515	1,272	1,185	1,126	1,065	876	821	848	34	794	32	714	29	661	27	634	530				
	30	22.1	1,537	1,294	1,207	1,149	1,087	898	843	870	35	816	33	736	30	683	28	656	552				
12月	1	21.9			1,229	1,170		1,109	920	865	36	838	34	758	31	705	29	678	574				
	2	21.7			1,251	1,192	1,130		941	887	37	860	35	779	32	726	30	700	595				
	3	21.6			1,272	1,214	1,152		963	908	38	882	36	801	33	748	31	721	617				
	4	21.4			1,294	1,235	1,173		984	930	39	903	37	822	34	769	32	743	638				
	5	21.2			1,315	1,256	1,194		1,008	951	40	924	38	844	35	790	33	764	660				
	6	21.1							1,027	972		999	41	945	39	865	36	812	681				
	7	20.9							1,048	993		1,020	42	966	40	886	37	832	702				
	8	20.7							1,068	1,014		1,041	43	987	41	906	38	853	722				
	9	20.6							1,089	1,034		1,062	44	1,007	42	927	39	874	743				
	10	20.4							1,109	1,055		1,082	45	1,028	43	947	40	894	763				
1月	11	20.2							1,129	1,075		1,102	46	1,048	44	967	41	914	784				
	12	20.0							1,149	1,095		1,122	47	1,068	45	987	42	934	804				
	13	19.8							1,169	1,115		1,142	48	1,088	46	1,007	43	954	823				
	14	19.6							1,189	1,134		1,162	49	1,107	47	1,027	44	974	843				
	15	19.4							1,208	1,154		1,181	50	1,127	48	1,046	45	993	862				
	16	19.2							1,227	1,173		1,200	51	1,146	49	1,065	46	1,012	882				
	17	19.0							1,246	1,192		1,219	52	1,165	50	1,084	47	1,031	901				
	18	18.8							1,265	1,211		1,238	53	1,184	51	1,103	48	1,050	919				
	19	18.6							1,284	1,229		1,257	54	1,202	52	1,122	49	1,069	938				
	20	18.4							1,302	1,248		1,275	55	1,221	53	1,140	50	1,087	958				
2月	21	18.2								1,293		1,239	54	1,158	51	1,105	49	1,079	975				
	22	18.0								1,311		1,257	55	1,176	52	1,123	50	1,097	993				
	23	17.7								1,329		1,275	56	1,194	53	1,141	51	1,115	1,010				
	24	17.5								1,346		1,292	57	1,212	54	1,159	52	1,132	1,028				
	25	17.3								1,364		1,310	58	1,229	55	1,176	53	1,149	1,045				
	26	17.1								1,381		1,327	59	1,246	56	1,193	54	1,167	1,062				
	27	16.9								1,398		1,344	60	1,263	57	1,210	55	1,183	1,079				
	28	16.7								1,414		1,360	61	1,280	58	1,227	56	1,2					

令和8年産水稻・大豆生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

佐城農業振興センター

